



遠大勵志

新型コロナウイルス感染症 に関する差別・偏見の防止 に向けて

(文部科学大臣メッセージ)

差別、偏見、中傷、いじめ、SNSでのモラルについては、今までも校長通信No.10, 11, 22でも伝えてきました。本校に学ぶみなさんは、差別、偏見、中傷がいけないということは十分理解しているはず

です。しかし、各県ではコロナに感染した方々、医療従事者への中傷やデマなどが起きています。

岩手でも、感染した方の勤務先に中傷などの電話があったり、差別的なメールがあるなどしていると聞きます。コロナに感染したくて感染する方は誰もいません。感染した方が一番大変な思いをしているわけですから、罹患したことを責めても何にもなりません。

岩手の達増知事も感染者へのバッシングが懸

念されることで「犯罪にあたる場合もある。厳格に臨む意味で(中傷に対しては)鬼になる必要がある」とも話していました。

本校から感染者が万一出たとしても、しっかりと完治した後、今までと同様な学校生活を送ることができるようにしていきましょう！！

不当な差別や偏見をなくしましょう



正確な情報をもとに冷静な判断を

8月25日に文部科学大臣から出されたメッセージを以下に紹介します。目を通して下さい。

=====

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、学校はどうなるのだろう、この先どうなるだろうと、不安だったのではないのでしょうか。新しい学期を迎えるに当たって、皆さんに伝えたいことがあります。

まず、感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話をするときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合には学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。

それでも、これまでも皆さんは風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。この三つは、症状がよく似ています。

ですから、今後、皆さんの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かたら自分は大丈夫かなと不安になることもあるでしょう。新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのでは

コロナウイルスに関して

みなさんへのお願い

なく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症が広がり、皆さんの日々の生活は一変したと思います。以前のように、友達と会いにくくなり、スポーツや文化に触れる機会も少なくなり、将来への不安やストレスを抱えている人も多いでしょう。

これまで、私たち人間は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そうして、私たちは、病気と共存していく。この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まります。

私たち大人は、皆さんの応援団として、将来の見通しを持ち、未来の社会の担い手である皆さんが学ぶ機会、遊ぶ機会、交流する機会を最大限作っていきます。

それまで、皆さんは今自分ができる予防をしっかりと行い、将来の目標を持ち、家庭や学校で日々の学びを続けてほしいと願っています。

=====

- 1 感染症を予防するには、運動・食事・休養・睡眠の調和の取れた生活を続けることが大事です。
- 2 ウイルスから自分自身を守るために、大切な人を守るために、基本的な感染症対策（マスク着用・手洗い・うがい・検温・消毒など）や、3密を避けるなどの予防策を徹底すること。
- 3 誤った情報や不確かな情報に惑わされることなく、正確な情報や科学的根拠に基づいた行動を行うこと。
- 4 感染者・濃厚接触者、その家族への偏見に基づく差別を行わないこと。
- 5 ウイルスに感染しても症状が出ない場合もあり、自分が知らないうちに感染を広めることもあるという意識をもって生活してほしいこと。

部活動の結果

◎2020北上フィールド競技会

8月10日(月)、北上運動公園陸上競技場で標記大会が行われました。

【女子】

- ・走り高跳び 第3位 八重樫澄佳 1m66
- ・棒高跳び 第1位 新田奈菜子 3m00
- ・走り幅跳び 第1位 菅原 舞 5m15
- 第2位 八重樫澄佳 5m07

◎青森夏季チャレンジ記録会

8月22日(土)、青森県総合運動公園陸上競技場で標記大会が行われました。

【男子】

- ・200m 第1位 高杉時史 20秒92

【女子】

- ・走り高跳び 第1位 八重樫澄佳 1m73

◎第21回高校生国際美術展

「書の部」 佳作 後藤ひかり